

# 「婦人科 腹腔鏡下子宮手術」で手術を受けられる患者さんへ

様

\*この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますのでご了承下さい。なお、分からないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談下さい。

	月 日	月 日 (手術当日)		月 日	月 日	月 日	月 日
	前日	手術前	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目
普通の経過	入院から手術までの流れがわかる。	手術の必要性が理解できる	傷やおしもからの異常な出血がない。 痛みがある場合は看護師に伝えることができ、苦痛なく過せる。		身の回りの事ができる。 傷口に問題がない。		退院後の生活の注意点が分かる。
診察	 麻酔科の医師 診察 麻酔の説明があります。	 主治医 朝、診察があります。		 医師 傷の確認	 医師 傷の確認、テープ交換		 主治医 退院診察 午前11時頃退院です。
処置 投薬 治療	  入院したら下剤を内服します。 20時頃、浣腸があります。 寝る前に、安定剤をお渡しします。	   7時頃浣腸があります。 お腹とおしもの毛を剃ります。 点滴を始めます。 胃を保護する注射をします。 弾性ストッキングを履きます。	 点滴3本 抗生物質の点滴  腰に痛み止めの管が入っています。  酸素吸入をします。  血圧計を付けます	 点滴3本 抗生物質の点滴 1日2回(朝、夕)  酸素吸入を終わります。 血圧計をはずします。 血液検査 	 点滴2本 腰に入っている痛み止めの管を抜きます。		
説明 指導	 弾性ストッキングのサイズ測定を行います。 看護師が入院生活・手術について説明します。	 薬剤師が点滴薬についての説明をします。	 傷の痛み、頭痛、腰痛、足のしびれ、吐き気などの症状がないか確認します。 つらい症状がある方は看護師までお知らせ下さい。			 看護師 「退院のしおり」をお渡しします。	 主治医 退院後の生活について説明します。「退院のしおり」を持参してください。  看護師 診察券、次回外来の予約券をお渡しします。
トイレ	 制限はありません。	 尿の管が入っているため、寝たままで介助します。	 尿の管を抜きトイレまで歩きます。	 制限はありません。			
安静	 制限はありません。	 手術後3時間から寝返りができます。	 初めて起きる時には看護師が付き添い、その後座れます。 初めてトイレに歩く時にも看護師が付き添います。	 起きて歩くことが出来ます。	 制限はありません。		
食事	 21時以降 夕食はおかゆと消化のよいおかずです。21時以降は食べられません。水分摂取については看護師が説明します。	  1日中食べることはできません。水分摂取については看護師が説明します。うがいは可能です。	 看護師が介助し朝から飲水を始めます。  お昼から水分やゼリー類の食事が開始されます。	  普通の食事になります。普通の食事になればメニューを選択できます。 ※食事内容を変更したいときや食欲がないときなどは、看護師、栄養士にお知らせ下さい。			
入浴	 入浴できます。 爪切り・メイク落としも済ませてください。	 医師の診察後シャワーに入ります。	 看護師ヘルパー 洗面は介助します。	 看護師 看護師の介助で身体を拭いて着替えます。	 医師の許可があればシャワーを浴びることができます。 入浴は退院後の受診の際に医師が許可すれば可能です。		